

## 試験の内容と評価

(試験の評価は全て複数の試験官で実施しています。)

### ★第1次試験

#### 1 一般教養・教職専門試験 ・100点満点

実施方法	マークシート方式による出題(全試験区分共通)。時間は60分間です。
------	-----------------------------------

#### 2 教科専門試験 ・100点満点

実施方法	マークシート方式による出題(受験区分、教科によって問題は異なります)。時間は60分間です。
------	---

#### 3 小論文A ・100点満点

実施方法	与えられた課題について、600字以内で記述します。時間は60分間です。	
評価の観点	テーマの把握	<ul style="list-style-type: none"><li>・テーマに関する知識や見識はあるか。</li><li>・テーマを十分掘り下げて考えているか。</li></ul>
	表現力	<ul style="list-style-type: none"><li>・使用している表現は適切か。</li><li>・内容に具体性があるか。</li></ul>
	論文の構成	<ul style="list-style-type: none"><li>・主張が論理的でわかりやすいか。</li><li>・内容に妥当性があるか。</li></ul>
	教員としての資質	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員の資質能力を感じられるか。</li></ul>

#### 4 集団討論 ・7段階評価

実施方法	与えられたテーマについて10人程度のグループで討論を行います。進行は試験官が行います。時間は1グループ35分間です。	
評価の観点	対人関係能力	<ul style="list-style-type: none"><li>・他者とコミュニケーションをとり、討論を円滑に進める能力があるかどうか。</li></ul>
	人柄	<ul style="list-style-type: none"><li>・人柄が教員としてふさわしいかどうか。</li></ul>
	意欲	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員に必要な意欲・姿勢があるかどうか。</li></ul>

## ★第2次試験

第1次試験合格者について実施します。

小論文Bは第1次試験の受験者全員に実施し、第1次試験の合格者のみ採点します。

1

### 小論文B

・100点満点

実施方法	与えられた課題について、600字以内で記述します。時間は60分間です。	
評価の観点	テーマの把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに関する知識や見識はあるか。</li> <li>・テーマを十分掘り下げて考えているか。</li> </ul>
	表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用している表現は適切か。</li> <li>・内容に具体性があるか。</li> </ul>
	論文の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主張が論理的でわかりやすいか。</li> <li>・内容に妥当性があるか。</li> </ul>
	教員としての資質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の資質能力を感じられるか。</li> </ul>

2

### 実技試験

・100点満点

音楽

試験内容	評価の観点
聴音 (複旋律)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確に音価・音程を捉えて記譜をしているか</li> <li>・正しい方法で記譜ができているか</li> </ul>
視奏 (初見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記譜された旋律を正確に読譜して歌唱し、旋律にふさわしい和声・伴奏型を付けて演奏しているか</li> <li>・旋律の全体像をつかみ、音楽の流れによって豊かに表現しているか</li> </ul>
ピアノによる伴奏及び歌唱 (暗譜による弾き歌い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想を生かし、豊かな表現でピアノ伴奏し、歌唱しているか</li> <li>・発声や語感・歌詞のニュアンスなど言葉の特性を生かして歌唱しているか</li> </ul>
ピアノ演奏 (暗譜による演奏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の特徴を捉え曲にふさわしい表現を工夫し、豊かな表現で演奏しているか</li> <li>・中学校の音楽指導に対応できる、ピアノの基礎的な演奏技能をもっているか</li> </ul>
ピアノ以外の楽器による独奏 (暗譜による演奏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の特徴を生かして、豊かな表現で演奏しているか</li> <li>・楽器の基礎的な奏法を身に付けて演奏しているか</li> </ul>

美術

試験内容	評価の観点
<p>立体 (与えられたテーマを油粘土で立体に表現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感性や想像力を働かせ、豊かな発想・構想をしているか</li> <li>与えられたテーマに適した表現方法を用い、工夫して表現しているか</li> <li>立体として形体の表し方、意図に応じた材料や用具の扱い方ができているか</li> </ul>
<p>デザイン (与えられたテーマを平面で構成)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形要素の働きを考え発想・構想をしているか</li> <li>与えられたテーマに適した表現方法を用い、工夫して表現しているか</li> <li>配色や構成など、意図に応じた材料や用具の扱い方ができているか</li> </ul>
<p>風景写生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象を深く見つめ感じ取ったことを基に、心豊かな構想を練っているか</li> <li>多様な表現方法や材料などの生かし方を工夫し表現しているか</li> <li>光と陰、奥行きや広がり表現するなど、基礎的な技能を身に付けているか</li> </ul>

保健体育

試験内容	評価の観点
<p>体育実技</p> <p>器械運動 (マット必須/鉄棒・跳び箱・平均台から1種目選択 男子は平均台を除く)</p> <p>陸上競技 (ハードル走必須/走り高跳び・走り幅跳びから1種目選択)</p> <p>球技 (バスケットボール・バレーボール)</p> <p>武道、ダンス (剣道・柔道・ダンスから1種目選択)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材の理解(基本的な動き、技等)</li> <li>運動に対する基礎的・基本的な能力(授業への対応能力)</li> <li>運動の技能(技のできばえ、技能の程度)</li> <li>技能の連続性(素早い判断や、スムーズな動き)</li> </ul>

英語

試験内容	評価の観点
<p>スピーチ ディスカッション</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確で、適切な英語を使うことができるか</li> <li>自分の考えなどについて、的確に伝えたり、話し合ったり、意見の交換をしたりすることができるか</li> <li>話し手の考えなどを理解しながら、話し合いに参加しているか</li> </ul>
<p>マイクロティーチング</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入のアイデアは、生徒が関心をもてるよう工夫されているか</li> <li>文法事項を適切な方法で提示することができるか</li> <li>英語で授業を進めることができるか</li> </ul>

実施方法	<p>受験者が教師役と児童生徒役になって、「学級担任(又は養護教諭)が教室で学級指導を行う」という設定で行います。教師役の時間は1人5分間です。</p> <p>指導内容(テーマ)は事前に与えられた10個の中から、当日指定した1つで行います。小学校は5年生、中学校は2年生の設定で行います。</p> <p>特別支援学校及び養護教諭は小学5年生又は中学2年生のどちらかを選択して行います。受験者は、教師役、児童生徒役の両方を行います。</p>	
評価の観点	指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容を適切に把握し、解決に向けて指導している。</li> <li>・児童生徒の心理を理解し、工夫して指導している。</li> <li>・児童生徒の反応等に対して、適切に対応している。</li> </ul>
	表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な言葉遣いや声の大きさ等で、指導している。</li> <li>・子どもの発達段階を考慮したわかりやすい話し方で指導している。</li> <li>・状況に適した豊かな表情で、指導している。</li> </ul>
	意欲・人柄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導に対する意欲や熱意が、子どもへのかかわりから十分に感じられる。</li> <li>・自分の長所を生かして、クラスに子どもが安心して考えることができる雰囲気を作っている。</li> <li>・指導全体を通してみて、子どもをひきつける魅力があると感じられる。</li> </ul>

実施方法	<p>複数の試験官で行います。時間は1人25分間程度です。</p>	
評価の観点	社会適応性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての品性や基本的な素養がある。</li> <li>・質問の意図を正しく理解し、自分の考えを簡潔に伝えている。</li> <li>・考え方に柔軟性、適応性があり、職場の同僚と協働できる。</li> </ul>
	教職への適性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ姿勢がうかがわれ、成長の可能性が感じられる。</li> <li>・志望理由の中などに、子どもへの深い愛情や教職に対する意欲・情熱が感じられる。</li> <li>・子どもとじっくり向き合う、根気強さが感じられる。</li> </ul>
	人柄・性格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレス耐性が感じられる。</li> <li>・明るさと落ち着きがあり、周りからの信頼を得られると感じる。</li> <li>・受け答えに誠意があり、責任感と周囲の言葉を素直に受け止めて生かしていく姿勢が感じられる。</li> </ul>